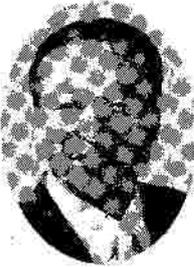




津久井 清の 共育だより



発行 津久井 清と共育の会 ☎273-0136 鎌ヶ谷市芝無間2-6
電話 047(444)5262 (FAX 兼用)
http://www.linkclub.or.jp/~ktsukui/
e-mail:ktsukui@air.linkclub.or.jp



6月市議会は、6月8日～24日まで開催され、「市一般会計補正予算」など3議案が可決しました。津久井議員は、「原発事故による市内放射線量調査と今後の対策」等2項目の一般質問を行いました。(詳細は2面参照)

“放射線被曝”から子どもを守れ！

鎌ヶ谷市議会議員 津久井 清

東電福島原発事故は、チェルノブイリ原発事故と同じ最悪の「レベル7」と発表され、チェルノブイリ程ではないが放射線の放出は続いています。

4月以降、乳児の母親を中心に多くの市民から電話・メール・直接面会等で私に「市内の放射線の早期測定と対策を」と切実な声が寄せられています。

事実、チェルノブイリ周辺では事故後5年で子どもの中に甲状腺ガンが多発、10年後の1996年には周辺の子どものガン等に優されました。

やっと6月1日、千葉県は鎌ヶ谷市を含む東葛地域の「空間放射線量測定」を実施、例えば市内北部小11時間で0.25〜0.29マイクロシーベルトが計測されました。この値は、文科省が目標値とした年間1ミリシーベルトを1時間で換算した値の0.19マイクロシーベルトを超過しております。

放射線はDNAを損傷する為、新陳代謝の活発な乳幼児、子どもには大人の十倍ものガンなどへの罹患率の危険があると指摘されています。

市内の乳幼児の親で作る「子供を放射能汚染から守る会」からの要望書は：

- 水・土壌の放射線測定を
- 乳児のミルクを水道水でなく深井戸水（市所有）
- 乳児を地面に近い所で遊ばせない
- 給食の食材の放射能検査を…などを強く要望しています。

更に、ドイツ、イタリアに続いて地震の多い日本では尚更として、脱原発を掲げて「自然エネルギーを2050年までに100%プラン」（飯田哲也環境研究所長提案）や「脱原発プログラムアクション」（社民党提案）などの具体的な動きが注目されています。私も脱原発に向けて取り組んでいきたいと思えます。

住民運動たまたかの記録

9階建てマンション計画が1戸建てに変更へ

山下 真佐美 (佐津間)

今から5年前、私たちの住むこの佐津間に、4層幅の道路奥に9階建てマンション計画が持ち上がりました。

住民への説明会も開かれぬまま、業者の威圧的で不誠実な対応のままに計画だけは進んでいきました。近隣住民で話し合い、地元の議員であり私の恩師でもある津久井議員にお力添えをお願いしました。

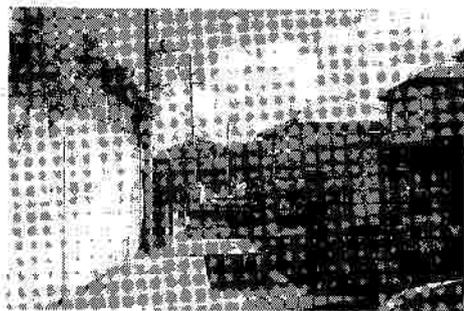
津久井議員は直ちに快諾下さり、私達と一緒に清水市長への要望書提出や市議会本会議で「車両制限令」という専門的なことも質問されました。

市の土木部長は「大型車両は通行できない」と答弁し、建築工事は困難な中に拘わらず、市の「開発許可」は下りてしまいました。しかし住民側も「乱開発反対千人署名」や4層幅の道路は百人近い子ども達が通う通学路を守れ!と住民運動を継続しました。そして今年の3月、業者側は「1戸建て15戸に変更する」と文書で報告してきました。

あのまま9階建てのマンション計画が実施されていたら、4層幅の通学路に朝など何十台もの車が通行し、悲劇が起きていたかも知れません。

もしも津久井議員のお力添えがなかったら、「1戸建て変更」という結果は得られなかったと思います。

これから先は、1戸建て工事に伴う通学路の安全対策を見守っていききたいと思います。



☆津久井市議の6月市議会報告会

7月17日(日)午後一時半

市まなびいプラザ3階会議室

7月16日(土)午後一時半

市北部公民館2階和室

内容 6月市議会報告・市の最新情報

放射能汚染と脱原発について

☆弁護士無料法律相談

7月23日(土)・9月24日(土)・10月29日(土)・

11月26日(土)各午後一時

場所 津久井トライ事務所(要予約)

☆脱原発を求める千葉県集会

とき 7月22日(金)午後6時半

場所 千葉市文化センター5階

(☎043・224・8211)

テーマ 脱原発の社会へ

講師 西尾 漢(原子力資料室共同代表)

参加費 500円(資料代)

【編集後記】

3・11東北大津波、そして東電福島原発事故。前者は自然の大いなる脅威、後者は人為的的重大事故。責任者は名乗り出て、責任を明確に取り将来を語れ!

津久井清の

一般質問

6/22

(要旨)



①市内の放射線調査と今後の対応

質問（津久井議員） 6月1日、県の空中放射線調査によれば、柏市は0・54^{マイクロシーベルト}、鎌ヶ谷北部小0・29^{マイクロシーベルト}に対し、福島に近い水戸市は0・094^{マイクロシーベルト}とヒト桁低い。東葛地区はホットスポット（放射能集中地域）と言われているがどうか。

答弁（市民部長） ある専門家によれば、放射性物質が風向きの影響で東葛地区に降下して地表面に付着—という意見があります。現在の測定が進んだ段階で専門家のご意見も伺います。

質問（津久井議員） 空中だけでなく、土壌や水についても放射能測定を進めてほしい。

答弁（市民部長） 水道水やプールについては、継続して測定を行っており、放射性物質が検出されれば即時に対応します。新たに、地表5cmの測定も今後行っていきます。

質問（津久井議員） 給食の食材、特に葉物類などについての安全性を確保してほしい。

答弁（市民部長） 放射線対策として、野菜は生

食ではなくすべて加熱処理します。さらに、野菜の洗浄についても徹底して行います。

質問（津久井議員） 東電福島原発の放射能の放出は続いています。市として今後、放射線測定を幅広く継続して実行していくべきと考えるがいかがですか。

答弁（市民部長） 市独自に、小中学校・保育園・公園など55か所を順次測定していきます。市のホームページや印刷物で公表します。

②3・11大震災時の児童の指導

質問（津久井議員） 3・11大震災時に小学校低

学年も含めて下校させたことは、帰宅困難な親も出る中、不適切だったと思うがどうか。

答弁（教育部参事） 親への引き渡しをせずに下校させたことは不適切でした。新しく作成した「小中学校耐震マニュアル」では適切に対応できるように指導して参ります。

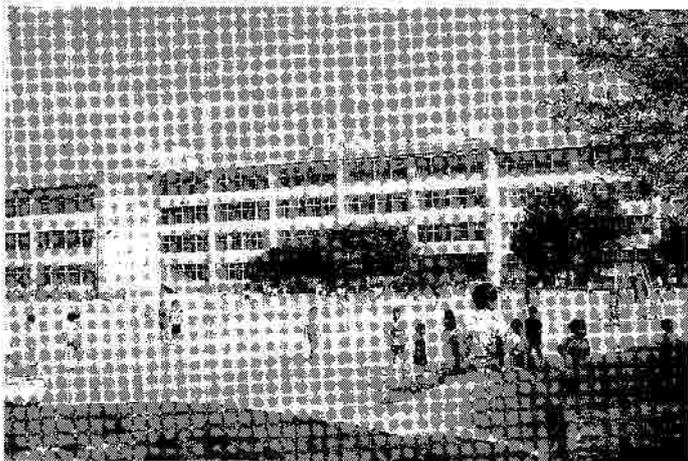
質問（津久井議員） 家庭で地震などの災害時の対応をよく話し合うよう指導したらいかがか。
答弁（教育部参事） 「小中学校耐震マニュアル」には防災について家庭でよく話し合うという項目も入れました。小学校では「引き渡し連絡票」も活用できるようにしてあります。

質問を終えて

（津久井記）

①放射能の放出が続く中、乳幼児を抱えた親の方々が10名以上も傍聴に來られました。放射線が大人の10倍もの危険度で乳児に悪影響を与える中、不安な心中を察します。私もその気持ちを背景に強く「市としての放射能測定と対策」を迫りました。新たに地面5cm測定や種々の対応策を約束させたが、まだまだ不十分。今後もキメ細かい対策を要求していきます。

②3・11大震災時の児童の下校指導について多くの親から問題点を指摘されました。今後の教訓と改善点が提案されました。



かまがや 市民ニュース

放射能東葛地区はホットスポットか

6月28日、千葉県は東葛地区等の空間放射線量調査結果を公表しました。6市の各地で最も高い値は、柏市松葉町で0・54マイクロシーベルト、鎌ヶ谷市内では北部小の0・29でした。

(1時間、50センチで測定。単位はマイクロシーベルト)

6月8日、鎌ヶ谷市単独で市内31箇所での測定では市北部の西佐津間公園の0・323が最高でした。

周辺と比較すると、県内市原市で0・043・隣接の福島に近い水戸市でも0・094と東葛地区に比較してヒト桁低い数値です。

このことから、東葛地区はホットスポット(局所的に放射能が集中する地域)ではないか、と乳児を

持つ親を中心に不安が高まっています。

こうした親が鎌ヶ谷市でも「子供を守る会」を作り、放射能調査と対策を市にお願いする行動を起しています。(一面参照)

確かに、文科省目標値の年間1ミリシーベルトの時間換算値0・19マイクロシーベルトを今、超えています。将来に悔いを残さない為にも、行政府は、最大限の放射能調査と対策を徹底して行うことが責務です。私たち大人が子ども達の「未来」を奪ってはなりません。

保育
充実2つの施策が実行へ

☆あっとほーむママ

県内初の施設型保育ママ制度として、「あっとほーむママ」(愛称)制度が7月にスタートします。

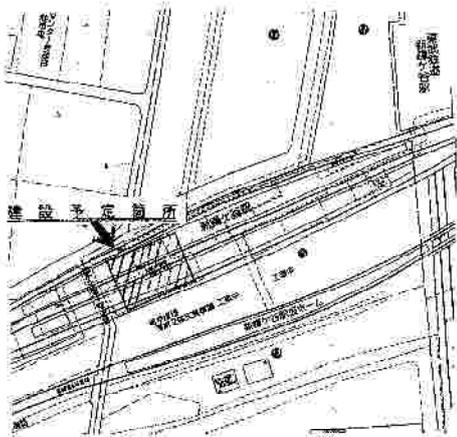
内容は、待機児童の多くを占める0・3歳未満の幼児(6人)を賃借した保育場所で2人の保育士が保育業務を行うものです。市の予算は約千百万円、県内初の試みに注目が集まっています。

☆新鎌駅高架下保育所の計画すむ

待機児童の解消を目指し、「駅前保育」の計画が具体化してきました。

5月31日、選考委員会で「鎌ヶ谷ひかり福祉会」が民間事業者候補に選定されました。

保育所定員60人、場所は新鎌ヶ谷駅高架下(別図)来年4月にオープン予定です。



学校耐震化工事が前倒し実施へ

6月市議会では、3・11大地震の被害を考慮し、「小中学校校舎の耐震化工事」を前倒しで実施する補正予算が可決されました。現在、市内の学校で耐震改修工事を完了していない校舎は18校に及びます。

当初は、年間3校の改修工事を行い、6年間で工事完了を予定していました。

しかし、3・11大地震を受けて、年間で3か所から9か所へ工事を前倒しで実施し、今後2年間で工事完了の見通しです。

今後、来年度に新たに工事予定の校舎は、以下の通りです。初富小・北部小・西部小・道野辺小・南部小・第二中の6校です。



憲法九条を守る意見広告

鎌ヶ谷市では146口(14万6千円)

千葉県下では2659口(265万9千円)

が集約されました。ありがとうございます。

(5月3日の朝日・毎日新聞千葉版に掲載)